



トピックス 病院再開発

滋賀医科大学医学部附属病院長
— 森田 陸司 —

滋賀医科大学医学部附属病院では、新病棟の建設と、外来、手術室、既存病棟の改修を順次行う病院再開発が実施される見通しになった。再開発に伴う工事は平成18年2月に始まり、平成24年3月頃までの予定である。再開発の経緯や目的について、森田陸司病院長にお話をうかがった。

でなく、外来、中央診療部門まで含めて病院全体の計画を見直すことになりました。

これと平行して、日本医療機能評価機構の審査を受けるための準備に取り組み、平成16年2月に好成績で合格しました。近年、患者様中心の医療が求められるようになり、開院時の施設は医療者の立場で作られたものであり、機能評価受審に当たっては、運用面での工夫と努力によって施設の不備をカバーしました。

現在、病棟は6人部屋が60%以上で、個室の割合は10%、面談室や説明室がないため、処置室やカンファレンス室の一部をこれに当てています。トイレ、風呂も狭く、バリアフリーへの配慮が十分でない、病棟に患者食堂がないことも課題です。外来では、一部診察室がカーテンで仕切られているほか、手術室が手狭になり、増加する手術件数に対して数も足りなくなっています。

これを踏まえ、昨年の5月に再開発検討委員会が作成した「再開発計画書」を携えて文部科学省を訪ねました。再開発がなければこれ以上前に進めないことを訴えたところご理解をいただき、平成17年度予算案が国会で承認されれば、4月から病院再開発がスタートすることになりました。

過去3年間に病院の経営が目覚ましく向上し、平成16年4月の国立大学法人化に際して文部科学省から「病院

の教育研究経費」以外の「一般診療経費」に対する運営費交付金を受けずに病院を運営できるという評価を受けたこと、機能評価に好成績で合格し医療の質の高さが認められたこと、再開発計画が完璧であり職員の熱意が文部科学省に感銘を与えたことなどの結果であり、職員全員の汗と涙の結晶が再開発という形で結実したものであると言えます。

「機能集約型」「地域密着型」

「医療安全推進」をコンセプトに

人口増加率、出生率で全国上位に位置する滋賀県では、周産期医療や小児医療に対する需要が大きい反面、湖北・湖西地域では高齢化が進み、生活習慣病や加齢に伴う疾患への対策も必要です。また、特定機能病院として三次医療体制に組み込まれ、高度・専門医療が期待されているといった当院が果たすべき役割から、再開発は「機能集約型病院」「地域密着型病院」「医療安全推進病院」をコンセプトとして進められます。

当院では、平成14年に内科・外科のナバー科を廃して23の臓器別診療科とし、患者様を中心に各診療科の専門家が集まって行うチーム医療への転換が図られました。機能集約型医療体制を構築するため、再開発に伴って臨床不整脈センターや細胞治療センターの新設、化学療法部、疼痛治療部の新設も検討中です。さらに、ICU、NICU（新生児

集中治療施設）や、リハビリテーション部、光学医療診療部の整備・拡充なども計画されています。

病棟では、内科と外科を同フロアとし、循環器病棟、呼吸器病棟、消化器病棟、頭頸部病棟などの臓器別病棟体制をとり、産科婦人科と小児科は生殖医療センター、周産期母子センターとして拡充する予定です。6床病室を4床にして、各室にトイレ、洗面所を設置するほか、個室を増やしたり（個室率を10%↓28%に）、各病棟に2室ずつ面談室を設置、各階にダイニング兼患者食堂、最上階に一般食堂、職員食堂を設置することを検討しています。

中央診療部では、現在10室の手術室を増築し、高度な手術に対応する6室を含む14室を確保する予定です。

計画では、基本設計に次いで12月までに実施設計を終え、平成18年2月頃からD病棟の工事をスタートして、診療科の移転を行いながらC病棟、AB病棟の改修を行い、中央診療棟と外来棟の改修は平成21年4月頃から3カ年計画で行う予定です。また、バスの病院敷地内乗り入れについても併せて検討します。

機能評価受審に向けて全職員が一丸となつて取り組み、各部署からアイデアや意見がたくさん出されましたが、それをこの再開発にも生かしながら、患者様の信頼と満足を追求する全人的医療を提供できる病院を実現していきたいと考えています。S

患者様中心の医療をめざし 病院全体の見直しに着手

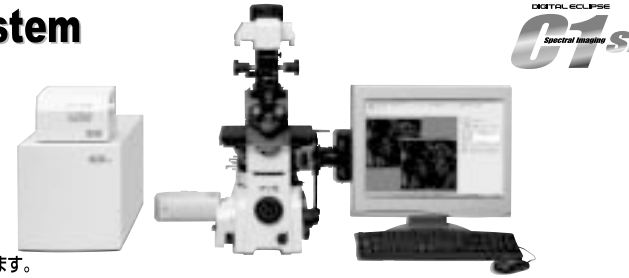
昭和53年10月に開院した滋賀医科大学医学部附属病院は、県内唯一の大病院として、安全で質の高い医療の提供、優れた医療人の育成、先進的医療の研究開発に取り組んできましたが、開院26年を経て、建物・施設の老朽化が進み、また医療をめぐる環境が大きく変化したことから、平成11年には「新病棟建設委員会」を組織して再開発計画が練られました。その後、平成15年6月に「再開発検討委員会」が発足し、病棟だけ



C1 Spectral Imaging System

スペクトルイメージングの世界を広げる
リアルスペクトルイメージング
蛍光レーザー顕微鏡システム

C1siは従来の蛍光ディテクタに加え、
スペクトルイメージング専用ディテクタを装備。
切り替え使用により、広範囲のアプリケーションに威力を発揮します。



株式会社 **コーガク** ◆本 社
<http://www.k-kogaku.co.jp/>

〒532-0003 大阪市淀川区宮原3丁目3番31号
上村ニッセイビル16階
Tel.06-6394-8801 FAX.06-6394-8889

◆京都支店 〒606-8221 京都市左京区田中西樋ノ口町80
Tel.075-781-1170 FAX.075-781-5110
◆営業所 岡山・金沢



世界最小
最軽量

血糖測定器 **新発売** ニプロフリースタイル フラッシュ



- 測定時間短縮(およそ7秒)
- バックライト機能搭載
- お知らせアラーム機能搭載



いままでのニプロフリースタイル
センサーをそのままご使用いただけます。

バックライト点灯時

新技術採用により、わずか**0.3μL**の血液
で血糖測定が行えます。

指先はもちろん、**手のひら**や痛みの少ない
腕からの採血・測定が簡単になりました。

お問い合わせ

ニプロフリースタイルに関する疑問・質問などございましたら、お気軽に右記「お客様相談窓口(通話料無料)」にお問い合わせ下さい。治療などにつきましては主治医にご相談下さい。



発売元 ニプロ株式会社
製造元 大阪市北区本庄西3丁目9番3号

やさしい ニプロ
☎0120-834-226

365日 24時間受け付けております。

技術を社会に笑顔をあなたに



21世紀を拓く **SANTO** のジオ・テクノロジー

DYNAMIC CONSTRUCTION



URL:<http://www.santo.co.jp>

大規模公共事業はもとより、マンションから寺社
仏閣まであらゆる建築物の設計・施工まで皆様
のご要望にお応えいたします。

また地球環境に配慮した事業を展開しています。
土壌の汚染調査から浄化まで対応いたします。



SANTO (JASDAQ コード番号:1788)

- | | | |
|----------|---|------------------|
| 事業所 ◆本 社 | : 滋賀県栗東市上鈎480番地 | TEL.077-553-1111 |
| ◆本 店 | : 滋賀県甲賀市信楽町江田610番地 | TEL.0748-82-1111 |
| ◆東京支店 | : 東京都港区新橋3丁目7番3号(ミドリヤビル4F) | TEL.03-3539-4361 |
| ◆営業所 | : 守山営業所、近江八幡営業所、彦根営業所、長浜営業所、大阪営業所、三重営業所 | |